

「仙北鐵道」「県北道路」映像&パネル展

登米地域は古くから、北上川や迫川を利用した舟運が発達し、人や荷物を運んでいましたが、明治時代になり東北本線（明治24年開業）など全国の幹線鉄道網が整備され、舟運から鉄道輸送へと大きな変革が進んでいました。

そのようななか、登米（とよま）から市内を横断し瀬峰、築館へと結ぶ「仙北鐵道」が、大正10年10月10日に悲願の開業（登米線）を迎え、登米地域も大いに盛り上がったとのことです。

「仙北鐵道」は既に廃線となってしまいましたが、開業から100年、今度は地域高規格道路の「みやぎ県北道路」で登米と築館が結ばれようとしています。

これを記念して、映像とパネル展示を行いますので、是非ご来場ください。

とき：令和3年8月10日（火）～19日（木）

ところ：イオンタウン佐沼

主催：宮城県（登米土木）、登米市歴史博物館

仙北鐵道

100年の時を刻んでふたたび

登米と栗原が鉄路で結ばれたのは1921年
（大正10年）10月10日。
それから100年、こんどは高規格道路
で、登米と栗原が結ばれます。

映像 & パネル展
令和3年8月10日（火）～19日（木） イオンタウン佐沼

県北道路

※航空写真は昭和37年5月20日
（国土地理院ウェブサイト）

宮城県（登米土木）
登米市歴史博物館